

一所懸命

益城町立木山中学校
第3学年通信 第2号
令和4年5月2日
文責：〇〇〇〇

新研究の取組を見直して、これからの学習計画を立てましょう

4月初めに新研究の確認テストを実施しました。2月から取り組みを始めた新研究、春休みまでの範囲でどれくらい身につけることができたでしょうか？テストは、新研究の中からそのままの出題している教科が多く、点数的には高い結果となりました。その分、これまでの取り組み方が問われます。国語の時間に今回のテストについてのアンケートを取りました。反省として出てきたのが以下の通りです。

新研究確認テストを終えて課題だと思ったこと

番号	内容	人数
1	漢字がわかっていなかった	31
2	古文と小説の問題が極端に低い	14
3	1回しか解いていなかった 復習が不足していた	13
4	文章問題ができていない	13
5	ケアレス（簡単な、不注意な）ミスをなくす	8
6	問題文の設問をよく読んでいなかった	7
7	間違えた問題をそのままにしていた	6
8	1, 2年で苦手だったところができていない	5
9	わかるまでがんばらないであきらめていた	5
10	文章で答えるのに時間がかかった	4
11	勉強時間が足りない	3
12	意見文を解くのが苦手	3
13	設問に合わせて答えるのができていない	3
14	もっとちゃんと取り組む	2
15	中途半端に覚えているのが結果に出ていた	2
16	文字が小さい 文字が読めない	2
17	表現技法を理解していない	2
18	計画通りに勉強をしていく	2
19	得意な教科と不得意な教科の差が大きい	1
20	答え合わせでただ写していた	1

結果を見ると、一番多かったのが「漢字」でした。他の項目を見ると「苦手な問題ができなかった」や「間違えた問題をしっかりとやり直しができていなかった」、「うっかりミスがあった」などは、どの教科にも共通しているのではないのでしょうか。みなさんは、どうでしたか？

取り組み方にも課題があるようです。「間違えたままにしていた」や「あきらめていた」「中途半端に覚えていた」などは、これからの取組の姿勢を変えないと次回も同じ反省になりそうです。

では、具体的にどうすればよいのでしょうか？「〇〇ができていない」のであれば、「できるようにする」というのが正解かもしれませんが、自分だけでは「できない」というのも勉強の難しさです。私の経験から言えるのは、得意な人に聞くことです。数学の得意な人に「この問題の解き方を教えて」と聞いてみてください。もちろん、先生に聞いてもいいです。聞くコツは、「この問題は？」と具体的に聞くことです。

自力登校のすすめ

歩いたり、自転車に乗ったりして登校する人が増えていきます。私も最近自転車で学校に行くことがあるのですが、車で登校する時には気づかないことが多くあります。建て直しが進められている住宅や季節を感じる植物たちなどゆっくりと景色が進みます。体力もかなり使います。自力登校は心と体にとってもいいみたいです。

家庭訪問お世話になりました

受験生ということでお尋ねになりたいことも出てくると思います。学年や学校で確認・検討をして、お答えしていきますので、よろしくお願いします。進路に関する情報は、進路担当者から「進路だより」を出す予定です。